

平成14年度第3回法務委員会議事抄録

日 時 平成14年 6月19日 (火)

1300～1800

場 所 操縦士協会事務局会議室

記

1.第2回法務委員会議事録の最終確認

2. J L 7 0 6 便事故機長在宅起訴、問題点と今後の方針について

平成14年5月14日朝日新聞にJ A P A としての姿勢と見解が掲載された

7月号PILOT誌やメールマガジンに正式な見解を発表するため内容を検討

以下の内容を盛り込み、協会名で発表

- ・ 関心を持って見守る
- ・ 事故調査と、刑事捜査のあり方を変える取り組み
- ・ 同種事故の再発防止のための取り組み
- ・ メディアに対する啓蒙

問題点と今後の方針(意見)

- ・ 裁判経過の情報を入手する方法はないか
会社、日乗連、名古屋在住の協会員、編集委員会等を経由して収集できないか
その場合、第三者を介するので情報に私見や感想が入る危険があるので法務委員会として積極的に裁判の傍聴ができないか
継続して常に情報を入手し、関心を示すことが必要
- ・ 当該機長に重大な過失がないと考えられるのに起訴されることが問題
- ・ 事故報告書の内容に異議を唱えるのではなく、当該報告書が起訴する上での証拠書類として利用されてしまうことが問題
- ・ この件は法務委員会独自で考えるのではなく、定期、航空安全委員会等と協力してあたったほうがよいのでは？

3.定款の改定について

改定の新旧対比表のすり合わせを行った

4.座席保険について

事務局よりアンケートの中に調査の目的を入れるよう、要請がある

目的は全ての座席を保険に加入してもらう

そのため現在ある保険に加入し難い原因を探る

将来的に、利用しやすい座席保険の団体契約斡旋を目指す

5.その他

山口氏より返事があった。当初再版は辞退したいとの事であったが、委員長の再度、お願いし一度会いましょうとの返事があった

委員長と田古里委員で調整し、名古屋事故において協会はどこまで関わる事ができるか、刑事処分についての意見、また前回のシンポジウムの感想などを伺う

次回法務委員会は7月16日に開催する。

以 上